

多重債務者相談窓口向けアンケート
(財務(支)局、沖縄総合事務局)

※ Q1～Q4は、平成21年10月1日～平成22年3月31日の合計値を記入して下さい。

※ 数値は、財務広報相談室(官)に寄せられた相談件数等の合計値とし、財務事務所及び出張所の数値も含まれます。

1. 相談窓口における相談状況について

Q1. 平成21年10月1日～平成22年3月31日までの月別の相談件数をお答え下さい。

電話相談後に窓口に来訪した場合には、「Ⅱ. 窓口による相談件数」に分類されます。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅰ. 電話のみによる相談件数	①	④	⑦	⑩	⑬	⑯
Ⅱ. 窓口による相談件数	②	⑤	⑧	⑪	⑭	⑰
Ⅲ. Ⅰ. Ⅱ. のうち、相談者が他財務(支)局(沖縄総合事務局を含む)の住民である件数	③	⑥	⑨	⑫	⑮	⑱

Q2. 相談者のプロフィールについてお答え下さい。

(平成21年10月1日～平成22年3月31日までの合計人数)

「相談者」とは、多重債務を抱えている本人を意味します。(以下同じ)

(1) 性別

	男	女	不明
人数	①	②	③

(2) 年齢層

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

(3) 職業

	給与所得者	自営・自由業	家事従事者	学生	無職	不明
人数	①	②	③	④	⑤	⑥

職業の分類は、PIO-NETの分類(消費生活相談カードの記載項目)に従うこととし

ます。

Q3. 多重債務者からの相談内容についてお答え下さい。

(平成21年10月1日～平成22年3月31日までの合計人数)

(1) 相談者の抱える借金の状況

借金の額については、相談の過程で聞き取ることできた額とします。

金額	人数
100万円未満	①
100万円以上 200万円未満	②
200万円以上 300万円未満	③
300万円以上 400万円未満	④
400万円以上 500万円未満	⑤
500万円以上	⑥
不明	⑦

(2) 相談者の借金をしたきっかけ

「きっかけ」とは、最初に貸金業者から借金をすることとなった理由とし、複数回答を可とします。

きっかけ	人数
低収入・収入の減少(生活費・教育費等の不足)等	①
商品・サービス購入	②
ギャンブル・遊興費	③
事業資金の補填	④
保証・借金肩代わり	⑤
住宅ローン等の借金の返済	⑥
本人、家族の病気・けが	⑦
その他	⑧
不明	⑨

(3) 相談者1人当たりの延べ相談時間

相談時間は電話による相談に加え、面談による相談を行った場合には、当該面談時間も含めます。

相談時間	人数
30分未満	①
30分以上1時間未満	②
1時間以上1時間半未満	③
1時間半以上2時間未満	④
2時間以上	⑤
不明	⑥

(4) 相談者の年収

「年収」は、世帯収入とします。

年収	人数
100万円未満	①
100万円以上200万円未満	②
200万円以上300万円未満	③
300万円以上400万円未満	④
400万円以上500万円未満	⑤
500万円以上600万円未満	⑥
600万円以上700万円未満	⑦
700万円以上800万円未満	⑧
800万円以上900万円未満	⑨
900万円以上1,000万円未満	⑩
1,000万円以上	⑪
不明	⑫

Q4. 相談者が相談に訪れたきっかけは何でしたか。

複数回答を可とします。

きっかけ	人数
新聞、広報紙、ちらしで知った	①
ポスターで知った	②
インターネットで知った	③
テレビやラジオで知った	④
家族や知人に聞いた	⑤
他部署、他機関からの紹介	⑥
その他	⑦
不明	⑧

2. 今後の見通し等について

Q5. 多重債務者相談業務について、現状の問題点や今後についてご意見がありましたらご自由にご記入下さい。

(以上)